

水 害

台風や集中豪雨時の注意報や警報は、災害が発生すると予想される場合に発表されます。テレビ・ラジオ・インターネットなどの気象情報に十分注意し、河川の氾濫や土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害が予想される場合は、万全の対策をとるようにしましょう。

水害に関する
情報入手

●気象警報・注意報
(気象庁)



●河川水位情報
(福岡県)



●洪水危険度分布
(気象庁)



●雨の降り方と強さ

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に強い雨	猛烈な雨	記録的短時間 大雨情報
人の受ける イメージ	 ザーザーと降る	 どしゃ降り	 バケツをひっくり返したように降る	 滝のように降る	 息苦しくなるような 圧迫感がある	数年に一度 程度しか発生 しないような 短時間の大雨 (気象台が発表)

※今いる場所で雨が降ってなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

●洪水について

洪水氾濫



大雨によって河川の水位が高くなると、堤防を超えて水があふれたり、堤防が壊れたり(決壊、破堤)することがあります。このようなことが原因で生じる氾濫のことを「洪水氾濫」といいます。

内水氾濫



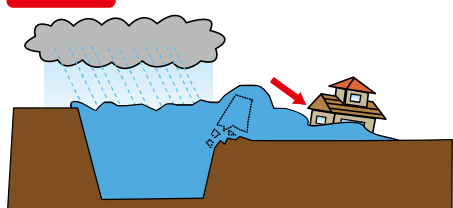
市内に降った雨は、水路や下水道などを通じて河川に放出されます。しかし、ゲリラ豪雨のような雨が降ると、水路や下水道の排水能力が追いつかなかったり、河川の水位が上昇して排出できないことがあります。このように、地域に降った雨が河川にたどり着く前にあふれる状態のことを「内水氾濫」といいます。

●家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋倒壊等氾濫想定区域は想定最大規模の降雨の場合に、家屋倒壊等をもたらすような氾濫流や河岸浸食が発生するおそれが高い区域です。

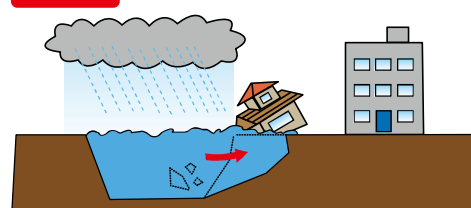
この区域では、洪水時に河川から離れた安全な場所へ、早めの避難を心掛ける必要があります。

氾濫流



堤防の決壊などにより河川が氾濫した場合に、激しい水の流れによる木造家屋の流失、倒壊が生じるおそれがあります。

河岸浸食



激しい川の流れにより河岸が侵食され、建物の基礎を支える地盤が削られることによる木造家屋・非木造家屋の流失、倒壊が生じるおそれがあります。

●日頃から、浸水を止める資材を準備しておきましょう

浸水が浅い場合には、浸水を止める資材(土のうなど)を置くことが有効です。浸水に備えて準備をしましょう。(あくまでも小規模な水害で、初期の段階で行うものです。危険を感じる前に早めに避難してください。)



●大雨時の地下室に注意しましょう

大雨時の地下室の利用は危険です。浸水の危険があるときは、早めに避難しましょう。



地上が浸水すると水が一気に流れ込んできます。



水かさが増すと、水圧でドアが開かなくなります。

●避難情報や河川の水位情報に留意して行動しましょう

堤防高を超える	宝満川 御笠橋	宝満川 下見橋	山口川 針摺東
氾濫危険水位 洪水・氾濫等により重大な災害が起こるおそれがある水位	1.8m	3.29m	—
避難判断水位 避難情報の発令判断や市民が避難行動を行う目安となる水位	—	2.93m	—
氾濫注意水位 河川の氾濫の発生を注意する水位	1.3m	2.68m	—
水防団待機水位 消防団(水防団)が待機する目安となる水位	1.0m	2.30m	—
ふだんの水位	▽		

※避難情報等については5・6ページ参照

●水位計設置場所

宝満川(御笠橋)



宝満川(下見橋)



山口川(針摺東) ※水位観測のみ



防災情報
水
害
土砂災害
地震
原子力防災
洪水・土砂災害
避難所連絡先一覧
地震ハザードマップ

防災情報
水
害
土砂災害
地震
原子力防災
洪水・土砂災害
避難所連絡先一覧
地震ハザードマップ